

全体研修会

市町村発表・歴史講演会

参加費
無料

日時

10/27(火)

13:00～

会場

岐阜県

シンクタンク庁舎
(5F 大会議室)

12:30～ 受付(同時に資料交換会実施)

13:00～ 開会

13:15～ 市町村の実践発表

「高山市における歴史資料の保存と活用」

高山市文化財課長・飛騨高山まちの博物館館長

牛丸 岳彦 氏



14:15～

歴史講演会

「山村史料から読み取る山の豊かさ
～史料を整理し、後世に遺す営み～」

中央学院大学法学部教授

しろうず
白水

さとし
智 氏

白水智先生のプロフィール

・上智大学文学部史学科卒業
・中央大学大学院文学研究科国史学専攻博士後期課程
単位取得退学

＜専門分野＞ 日本中近世の山村史・海村史
・大規模災害後の文化財レスキューのあり方に関する研究

＜著書＞『古文書修復講座－歴史資料の継承のために』
(共著)勉誠社(2024) 『中近世山村の生業と社会』吉川
弘文館(2018) 『古文書はいかに歴史を描くのか－フィー
ルドワークがつなぐ過去と未来－』NHK出版(2015)
『知られざる日本－山村の語る歴史世界』日本放送出版
協会(2005)他

申込み

QRコード・Eメール・はがき・
FAX・電話で当協会へ申込んで下さい

TEL・FAX 058-214-8561

Eメール info@gifuhozon.jp

HP からも申込可



講演の概要－白水先生より－

中部地方の山村で古文書を調査すると、現代では想像できないかつての山の豊かさ、山村の生き生きとした活気溢れる姿が読み取れる。しかし一方で、今や山村の多くは過疎と少子高齢化の波に洗われ、かつての山村の姿を知る手がかりとなる古文書すら失われる危機にある。

山村の史料をどのように遺していくか、古文書から何を読み取り、その実像をどう後世に伝えていくかを考えてみたい。

主催:岐阜県歴史資料保存協会

共催:岐阜県

後援:岐阜県博物館協会 岐阜県郷土資料研究協議会 岐阜県文化財保護協会